

“困った”を力に変える。S-TEKTの挑戦とkey-manの物語

セキュリティ



“困った”を力に変える。
S-TEKTの挑戦とkey-manの物語

© 2025.07.14

私たちS-TEKTは、ただの電気工事会社ではありません。

現場で汗を流す人たちが、もっとスムーズに、もっと誇りを持って働けるように。

そして、その先にいるエンドユーザーの皆さまに、もっと安心して、もっと心地よく使っていただけるように。

日々の工事をこなすだけでなく、「現場から生まれる課題」に真剣に向き合い、

必要なものが世の中になければ、私たちがつくる。——そんな想いで、製品開発にも取り組んできました。

私たちの取り組みは、小さな試みかもしれませんが。

けれど、志は大きく。

弱電の業界をもっと良くしたい、仲間とともに支え合い、成長していきたい。

その先に、社会にとって本当に価値ある貢献があると信じています。

今回ご紹介するのは、そんな想いから生まれた、S-TEKTのオリジナル製品「key-man」

この小さなコントローラーが、“現場”と“未来”をつなぐ鍵になることを願って——。

■ 現場から聞こえた、リアルな声

「これ、もっと小さくならないの？」

「この狭い場所に制御基板って、邪魔かも…」

私たちS-TEKTが、日々現場の職人さんや設計者の方とやり取りをする中で、何度も耳にしてきた言葉です。モーター錠のコントローラーは、セキュリティシステムに欠かせない存在ですが、設置スペースや工事の煩雑さに悩む声は少なくありませんでした。

■ ただの“製品づくり”ではなく、“困りごと解決”が出发点

私たちが大切にしているのは、“現場で実際に使う人たち”と“その先のエンドユーザー”が本当に助かるものをつくること。

どんなに高性能でも、

- ・ 施工に手間がかかる
- ・ 見た目が悪くなる
- ・ 設計変更が必要になる

そんな製品では、誰も本当には喜んでくれません。

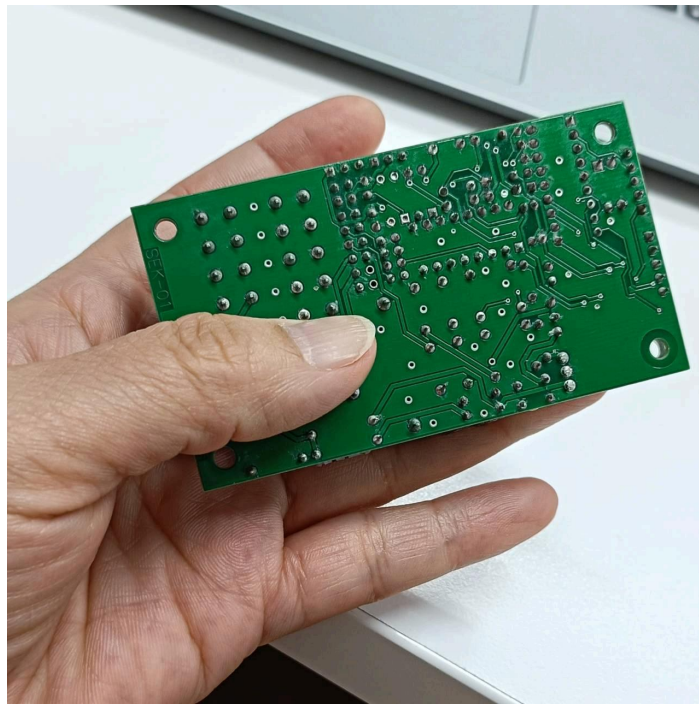
だからこそ、私たちは「制御基板ってこんなに大きくなきゃダメなのか？」という疑問から出発しました。

■ 開発された“小さな革命”——その名は「key-man」

S-TEKTが開発したモーター錠コントローラー「key-man」は、標準のスイッチボックスに収まるサイズ。これは、電気工事の常識をくつがえす小さな革命でした。

- ・ 制御盤の設置スペースが不要に
- ・ 壁面にスッキリ納まり、意匠を損なわない
- ・ 配線が短くなり、工事が簡単に
- ・ 増設や保守も楽になる

見た目は小さいけれど、使う人・設計する人・施工する人の「あったらいいな」をギュッと詰め込んだ一台です。



■ 「こうあったらいいな」は、私たちが現場で培った感覚

S-TEKTは、電気工事も、電気製品の製作も行う“ハイブリッドな会社”です。

だからこそ、現場でしか気づけない「細かな困りごと」に敏感であり、製品としての形にする力も持っています。

「key-man」は、その両方の力を活かした、まさに現場とユーザーをつなぐプロダクトです。

■ 私たちが目指すのは、「ただの工事屋」ではなく「現場の味方」

私たちのモノづくりの出発点は、いつも「誰かの困った」に寄り添うこと。

“なんでこうなってるの？” “もっと良くなるかい？”という視点を持ち、自分たちの手で改良し、カタチにしていく。

それが、S-TEKTのモノづくり精神です。

■ 最後に——key-manとともに広げたい価値

key-manが広がっていくのは、単なる「省スペース化」ではありません。

それは、現場に余裕を生み、設計者に自由を与え、エンドユーザーに快適と安心を届ける、“小さな選択肢の自由”です。

現場から生まれた「key-man」が、これからもたくさんの現場で、“鍵を握る存在”になっていけたら——それが、私たちS-TEKTの願いです。



0